

Ⅲ-1-(1) 街角木ポイント設置事業

○ 消費者が求める県産材を活用した木製品の利用拡大を図りました

(1) 県民公募による木製品等の整備

県民のアイデア提案事業により、デザインや製造技術などに優れた木製品を、公共施設等に設置し、木材利用を推進した。

提案者	設置木製品等	設置場所
大分大学附属幼稚園PTA	ままごとハウス	幼稚園内
西の台小学校父親部会	木製ベンチ、テーブル	小学校中庭
津留小学校PTA父親部	丸太ベンチ、プランターカ	小学校校庭等
大分県森林組合連合会代表	木製テーブル、ベンチ	津久見駅
大分県森林組合連合会	木製ベンチ	大分スポーツ公園
豊後大野市緒方町観光振興公	藤棚、水路橋	原尻の滝周辺
大野郡森林組合	プランターカバー	豊後大野市役所他
本耶馬溪町林業研究会	ツリーハウス	中津市洞門キャンプ場
山国川流域森林組合	チケット売り場テーブル、荷	中津駅
企業組合イヌワシ	木製積み木セット	幼稚園、病院小児病棟他
豊後大野市観光協会	観光管内看板	三重駅前広場
竹田直入森林組合	プランターカバー他	豊後竹田駅他
有限会社大野興業	テーブルセット、ベンチ他	菅生駅、道の駅みえ他

(2) 国体のための木製品等の整備

大分国体のため、県産材を使用した案内板やベンチ等を設置し、木材利用を推進した。

設置木製品等	設置場所
観客席ベンチ	白杵市
国体案内看板	大分市竹町



木製ハウスの設置



木製ベンチの設置

Ⅲ-1-(2) 木のぬくもりを感じる学校机・椅子設置事業

○ 県産材を活用した学校机・椅子の導入を図りました。

別府市内の小学校に地元産のスギを使った学校机、椅子970セットを設置した。
学校別内訳は下記のとおり。

	学校名	数量		学校名	数量
1	野口小	26	8	石垣小	130
2	境川小	85	9	青山小	55
3	北小	45	10	上人小	54
4	西小	36	11	鶴見小	94
5	南立石小	58	12	春木川小	40
6	亀川小	81	13	緑丘小	55
7	朝日小	120	14	大平山小	91
				合計	970



設置状況



設置状況

Ⅲ-2 木の温もりあふれる学舎整備事業

- 県産材を利用した内装木質化による木への理解を深めるため支援しました。

保育所、幼稚園、小中学校等の、県産材を利用した内装木質化（床、壁等）を行った。
また、保護者が、木造住宅に対して理解を深めるための講演会等を実施した。

NO	市町村名	保育園・幼稚園・小中学校	人数	内装化面積 (m2)
1	竹田市	小羊保育園	56	483
2	大分市	上野ヶ丘中学校	490	1,735
3	大分市	神崎中学校	153	567
4	日田市	すばる保育園	147	336
5	日田市	三隈中学校	569	391
6	国東市	統合安岐小学校・幼稚園	321	3,597
7	由布市	庄内厚生館あなみ保育園	80	862
8	佐伯市	大日保育園	90	722
9	日田市	緑ヶ丘幼稚園	55	179
10	大分市	東八幡保育園	67	99
合計			2,028	8,972



内装木質化状況



内装木質化状況

Ⅲ－３ 県産木材利活用促進事業

○ 杉などの県産木資材を、県の土木工事に活用し、広く県民に効果を周知するため、宇佐市安心院町国道５００号沿線において、木製ガードレール及び木製防護柵の設置を行った。



木製ガードレール



木製防護柵

Ⅲ-4 いきいき林業者活動支援事業

○ 地域で頑張っている林業者の支援や山村に残る優れた伝統技術の伝承を行いました。

(1) 林業機械リース料支援事業

24の林業者等に対し、間伐等森林整備に必要な機械のリース料の助成を行った。

(2) 伝統技術等習得支援事業

地域に残る優れた伝統技術を林業後継者が習得し、林業者の知識と技術の向上、伝統技術の伝承を図った。

①技術習得研修

研修項目：伐木造材

研修生：2名

研修日数：30日

②伝統技術講習会の開催

森の名人等を講師に技術講習会を開催し、その伝承を図った。

- ・ 伐木造材 12月3日 玖珠町



林業機械リース支援



伝統技術等習得支援

Ⅲ-5 おおいた型放牧育林モデル事業

○ 放牧による下草刈りの省力化等を図る実証試験地を設置しました。

放牧による林地の下草刈りの省力化、シカ等の植栽木食害被害の軽減、林地を活用した飼料代等の節減を目的に、スギ新植地に雌牛3頭を放牧した。

日時：平成19年9月～12月

場所：杵築市太田（ヒノキ林地3ha；3年生）



林地に放される雌牛



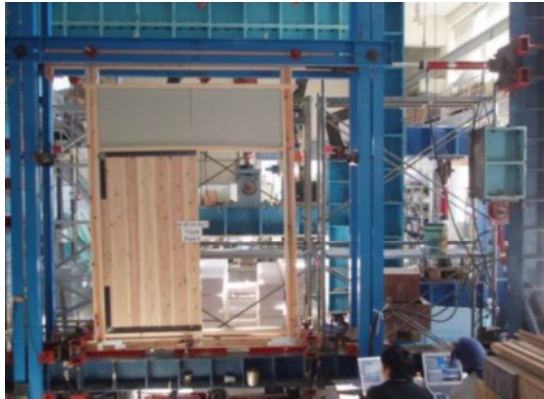
ヒノキの周りの下刈り状況

Ⅲ-6-(1) 木材新用途研究開発事業

○ 木材や竹材等の新たな用途開発を進めるため研究活動の支援を行いました。

木竹材等の新たな用途開発についての研究を支援し、その需要拡大によって森林の適正管理を推進する。

- (1) チップボイラーの開発、森林バイオマス供給体制の確立
- (2) 建具型耐震補強パネル開発
- (3) 簡易に組み立て・分解可能な棲家の開発



耐震補強パネル水平加力実験



六角錘棲家キット

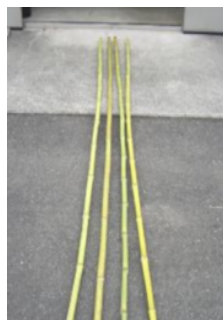
Ⅲ-6-(2) 丸竹材通直整形システムの開発事業

○ 竹材の新たな用途開発を進めるため研究活動の支援を行いました。

- ①塑性加工のための丸竹材の基礎データの把握
- ②通直整形実験装置による実証試験



整形実験状況



整形前



整形後